

ダクト用換気扇(プラスチックポテタイプ)

浴室・トイレ・洗面所用

取付説明書

販売店・工事店さま用

形名

VD-10ZC₂, VD-13ZC₂, VD-13ZSC₂
 VD-15ZC₂, VD-15ZPC₂, VD-17ZSC₂
 VD-18ZC₂, VD-20ZC₂

取付工事を始める前に必ずこの取付説明書をお読みください。
 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要ですが、その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミレキシアルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を△警告・△注意の表示で区分して説明しています。

	△警告 誤った取扱いをしたときに死や重傷などに結びつく可能性があるもの	△注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
	禁止	分解禁止
	指示に従い必ず行う	アース線接続

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

警告

- 交流100V以外では使用しないでください。
 (△炎や感電の原因になります)
- 内産式風呂を据付けた浴室には取付けないでください。
 (排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります)
- 製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。
 (シヨートや感電の恐れがあります)
- ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしないでください。
 (爆発や引火の恐れがあります)
- どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。
 (△炎・感電・けがの原因となります)
- 温風の多い場所ではアースを確実に取付けてください。
 (故障や漏電のときに感電することがあります)

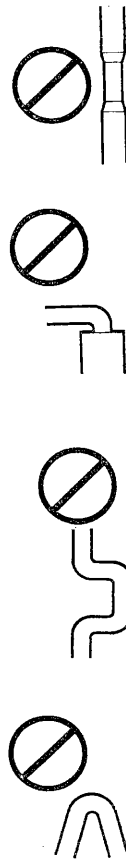
注意

- 浴室内に壁スイッチを設けないでください。
 (感電の恐れがあります)
- 直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けないでください。
 (△炎の恐れがあります)
- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
 (落下によりけがをすることがあります)
- 部品の取付けは確実に行ってください。
 (落下によりけがをすることがあります)
- 取付けの際は手袋を着用してください。
 (けがをすることがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
 (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

お願い

- 高温(40°C以上)になると取付けないでください。
 (高温では温度ヒューズが溶断して使えなくなります)
- 天井など温風の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に取付けてください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐための梁形フード(システム部材)などを取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。
 (風量低下や異常音発生の原因になります)

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり



規制

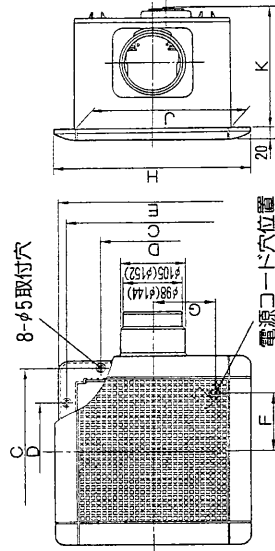
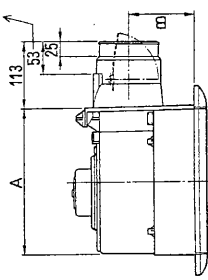
- プラスチックポテタイプ及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。

外形寸法図

単位(mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
VD-10ZC ₂	168	102	197	130	223	47	67	250	174	183
VD-13ZSC ₂	198	107	235	130	261	57.5	79	286	204	189
VD-15ZC ₂	248	109	283	170	306	100	100	330	254	200
VD-15ZPC ₂	248	109	283	170	306	100	100	330	254	200
VD-17ZSC ₂	248	125	283	170	306	100	100	330	254	200

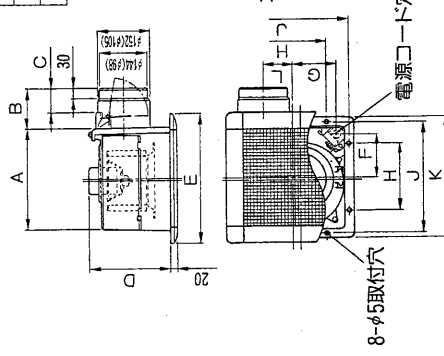
VD-17ZSC₂は無し



※図はVD-15ZC₂を示す。()寸法はVD-17ZSC₂を示す。

単位(mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
VD-13ZC ₂	190.5	113	58	189	266	55	79	150	212	250	55.5	198	102	192
VD-18ZC ₂	302	119	71	240	300	129	129	200	332	362	85.5	310	135	303
VD-20ZC ₂	302	119	71	240	300	129	129	200	332	362	85.5	310	135	303



※図はVD-18ZC₂を示す。()寸法はVD-13ZC₂を示す。

付属部品

木ネジ.....9本
(ステンレス製)

ダクト径

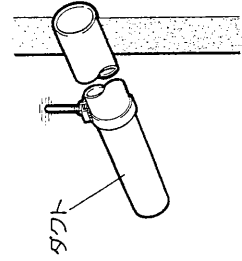
形名	ダクト径
VD-10ZC ₂ , 13ZSC ₂ , 15ZC ₂ , 15ZPC ₂	φ100
VD-17ZSC ₂ , 18ZC ₂ , 20ZC ₂	φ150

取付方法

取付手順例

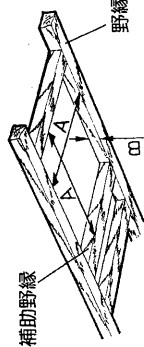
- 1 ダクト工事
- 2 野縁工事
- 3 ダクト接続
- 4 本体の取付け
- 5 電気工事
- 6 天井材を張る
- 7 グリルの取付け

1 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト-接続口位置までダクト配管をします。
●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。

2 野縁工事



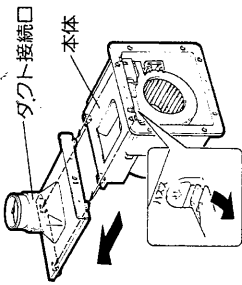
内寸がA寸法、高さがB寸法以下になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組みます。

単位(mm)

形名	A寸法	B寸法
VD-10ZC ₂	180	
VD-13ZC ₂	205	
VD-13ZSC ₂	215	40
VD-15ZC ₂		260
VD-15ZPC ₂		260
VD-17ZSC ₂		315
VD-18ZC ₂		45
VD-20ZC ₂		45

取付方法 っつき

3 ダクト接続



本体よりダクト接続口を引き抜きます。

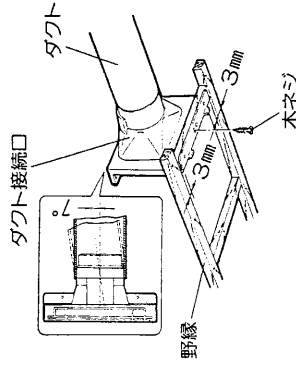
- 本体内側のツメを矢印の方向に押えながらダクト接続口を左図のように取りはずします。

シャッターはテープで固定して出荷されます。必ずテープをはがして取付けてください。

1

ダクト接続口をダクトに差し込み野縁に固定します。

- ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ1本で野縁の中心に固定します。(両サイドに3mmほどのすき間があきます。)
- VD-18ZC₂、20ZC₂はダクト接続口を野縁の角に合わせてすき間がないよう付属の木ネジ1本で固定します。
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向)

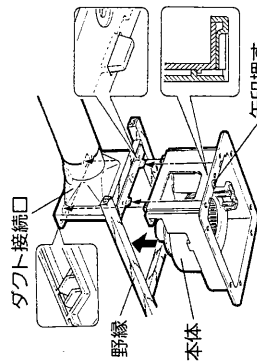


2

お願い

- ダクト接続を市販の木ネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

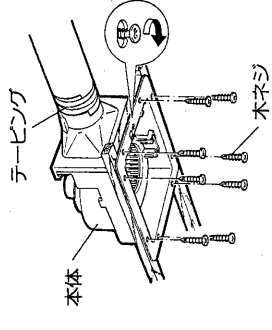
4 本体の取付け



本体を野縁にそって差し込みます。

- ダクト接続口とのめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の角穴を本体下部の突起部にはめ込みます。
- 本体フランジ部にある矢印付近を押し「パチン」と音がしてはめ込まれます。

1



本体とダクト接続部を固定します。

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ(8本)で本体をすき間のないようにしっかりと固定します。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテープングします。

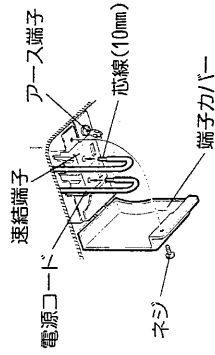
2

5 電気工事

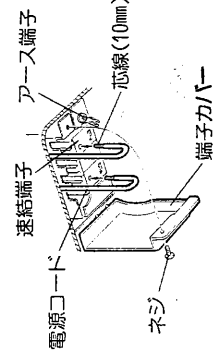
専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

- (1) 本体上部のゴムフッ素シユより電源コード(屋内配線VVFケーブルφ1.6、φ2)を通します。
- (2) 端子カバーのネジ1本をはずして端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差し込みます。(結線図参照)
- (3) 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ず接地工事(アース)を行ってください。
- (4) 端子カバーを元通り取り付けます。

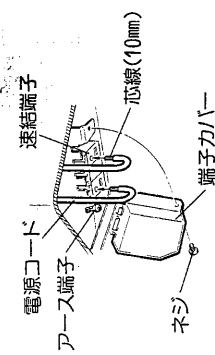
■ VD-10ZC₂



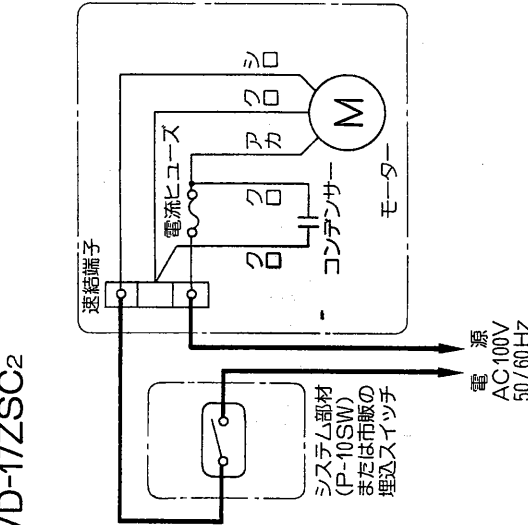
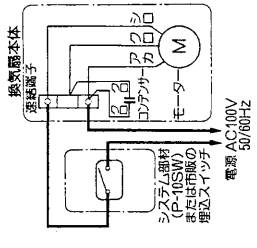
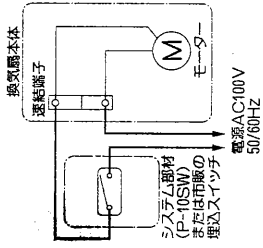
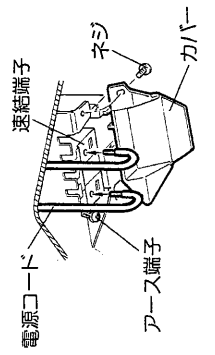
■ VD-13ZC₂, VD-13ZSC₂



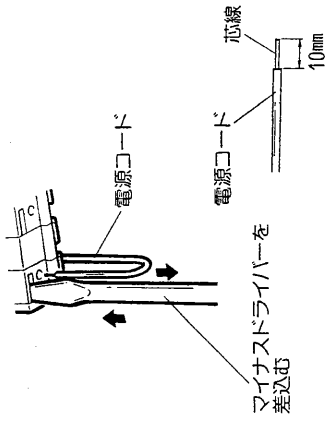
■ VD-15ZC₂, VD-15ZPC₂, VD-17ZSC₂



■ VD-18ZC₂, VD-20ZC₂



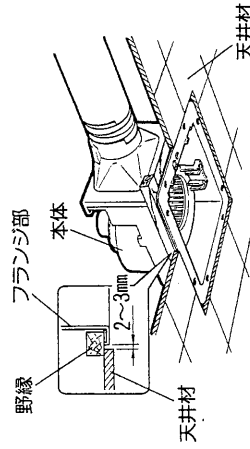
5 電気工事 つき



お願い

- より線を結線する場合は、棒状圧端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電線芯径は10mmむいてください。本体にあるストリップギアに合わせて、皮むきしますと便利です。(10mm以上むくと漏電の原因になります)
- 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。
- 電源コードを速結端子よりはりはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン(赤色)を押しながから電源コードを引っぱってはずしてください。

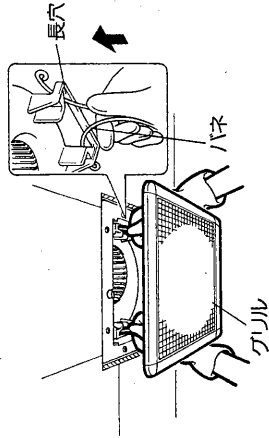
6 天井材を張る



天井材を張ります。

- 本体のフランジ部分と天井材とは必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあけます。

7 グリルの取付け



グリルを取付けます。

- グリルには、2つのハネが付いていますので両手でハネをつかみ長穴に差し込み、手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させます。

天吊金具を使用する場合

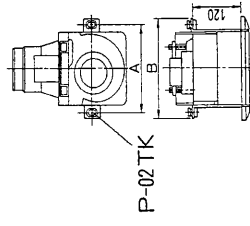
野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して取付ける方法も併用してください。

1. 下図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋込みます。

VD-10ZC₂, 13ZC₂, 13ZSC₂

VD-15ZC₂, 15ZPC₂, 17ZSC₂

VD-18ZC₂, 20ZC₂



この寸法
注意して
ください

P-02TK
2組使用
を示す

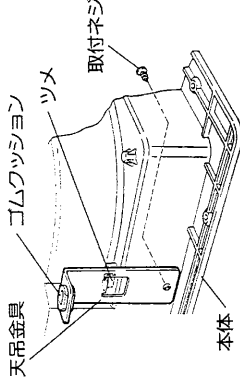
形名	A	B
VD-10ZC ₂	206	233
VD-13ZC ₂	230	257
VD-13ZSC ₂	238	265

単位(mm)

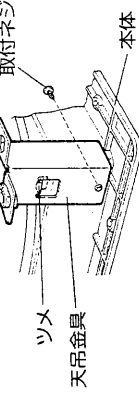
(P-02TKを1組対角2点吊り可能)

2. 天吊金具(システム部材)のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定します。

P-02TKの場合



P-04TKの場合



お願い

- 必ずダクト接続口を先に取付けてから天吊金具を取付けてください。逆の場合はダクト接続口が取付きません。

3. 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか?
2. 振動・異常音はありませんか?